

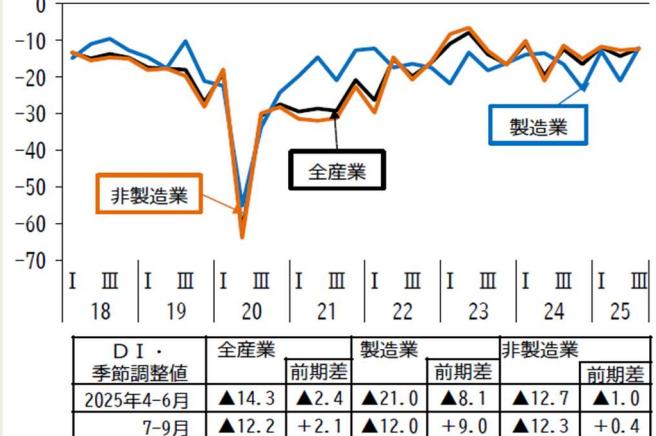
中小企業が直面している課題・対応策・県の支援策について

中小企業・小規模事業者の動向

足もとにおける現状認識

- 中小企業の売上高は足下で増加幅に縮小が見られるものの、**引き続き増加傾向が続いている**。
- 設備投資**は、中規模企業は横ばい、小規模は減少の傾向がある。(2025年版中小企業白書)
- 県内中小企業の業況判断DIも改善しており、**企業の景況感**も上向いていたが、最近は回復に足踏みの傾向が続いている。

中小企業の業況判断DI (千葉県) (季節調整値)



中小企業の課題①～物価高騰～

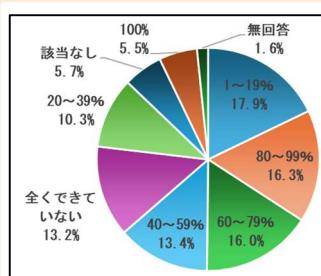
- 国際情勢の悪化により、輸入するモノの国際的な相場が大きく上昇したことや円安などにより、日本は**記録的な物価高**に直面している。
- 中小企業は、エネルギー・原材料価格が高騰している中、**コスト上昇分を適切に取引価格に転嫁できない**と、収益を確保することができない。
- 県内中小企業の**価格転嫁率**は**46.1%**となっており、コスト上昇分の半分以上を取引価格に転嫁できていない状況。

国内企業物価指数の推移

(令和2年平均=100)



価格転嫁の状況



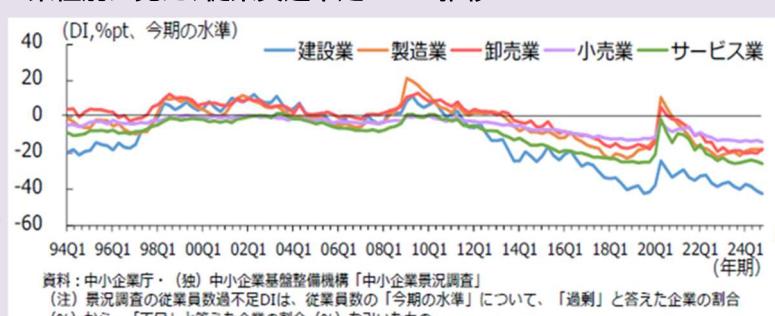
価格転嫁率 46.1%

千葉県「適切な価格転嫁の推進に向けた支援事業」
アンケート調査

中小企業の課題②～人手不足～

- 生産年齢人口の減少により、今後、更なる労働力不足が見込まれており、多くの中小企業にとって、**人材の確保**は**喫緊の課題**。
- 早期離職が多い新規学卒就職者など、**若手の人材**が定着することも重要な課題。
- 女性の活躍や高齢者の就業意欲の高まりを背景に、**女性**や**高齢者**の労働力率は増加の傾向にあることから、多様な人材が活躍するための環境整備をいかに進めるか課題。
- 兼業・副業人材**などの外部人材の活用や、テレワークなどの**多様な働き方**の環境整備も課題。
- 社会経済環境の変化に対応した**デジタル人材**などの高度人材の確保・育成も課題。

業種別に見た、従業員過不足DIの推移

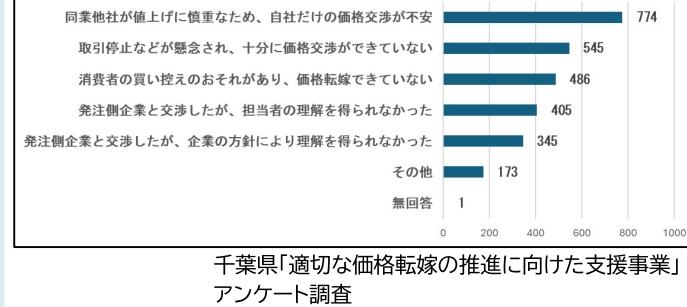


中小企業・小規模事業者の対応策

適切な価格転嫁

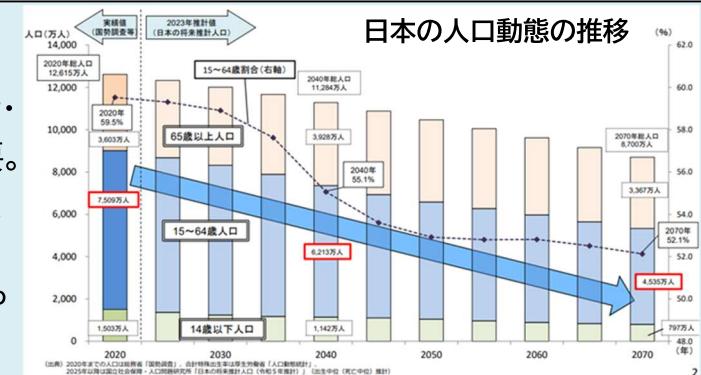
- 価格転嫁できていない理由としては、「同業他社が値上げに慎重なため、自社だけの価格交渉が不安」「取引停止などが懸念され、十分に価格交渉ができていない」といったものが多い。
- サプライチェーン全体での価格転嫁の機運醸成や、根拠を示すこと等による適切な価格交渉が重要。**

価格転嫁できていない理由



人材の確保・育成

- 若手人材の確保・定着や女性・高齢者・障害者・外国人など**多様な人材が活躍**することが重要。
- テレワークなどの多様で柔軟な働き方を推進する職場環境づくりが重要。
- デジタル化の進展に対応できる人材の育成や企業ニーズに応じた**リスクリキング**が重要。



生産性の向上

- デジタル技術の活用や DX**による**省力化・業務効率化**を図ることで、**生産性の向上**を図ることが重要。
- 他社との差別化、新規市場・顧客の獲得による販路拡大、ブランド力の強化等により、**付加価値**を上げることも重要。

デジタル化の取組段階



県の主な支援策

課題を抱える中小企業を支援するために

【総合的な経営相談】

- 産業振興センターのワンストップ窓口における**相談対応**【指標第 2 1(1)】

【適正な価格転嫁への支援】

- 国や関係団体と連携した**適切な価格転嫁**の働きかけ
- 専門家派遣やセミナー開催による**適切な価格転嫁の推進**に向けた環境づくり

【人材の確保・育成への支援】

- ジョブカフェやジョブサポートセンターによる**就労支援**【指標第3 1(1)】
- 働き方改革やテレワーク導入に関するセミナーや**専門家派遣**
- 従業員を対象とした**技能・資格取得**のための**訓練**【指標第3 1(2)】

【生産性向上への支援】

- デジタル化**への支援【指標第1 1(5)】や**生産性向上**のために導入する**設備投資**への補助
- 多様化する市場ニーズに対応した**新商品・サービス開発等**の**経営革新**の支援【指標第1 1(3)、3】